

# 極楽寺だより

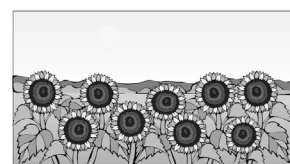
長門市三隅下  
野波瀬  
0837(43)0625

## 盆法会のご案内

暑中お見舞い申し上げます。お盆は都会に出ておられる方々の帰省で、忙しくもうれしい時期です。ならば、ご家族揃ってお寺にお参りされてはいかがでしょう。盆法会はお勤めを含めて一時間と少して終わります。計算してみれば、一年は八七六〇時間。八七六〇のうちのたったの一時間です。しかし、こんな慌ただしい時代だからこそ、心を落ち着け仏様に手を合わせる時間を持つことは、人生にとって本当に大切なものとなるはずですよ。

- 八月十四日(火) 午後二時
- 十五日(水) 午後二時
- 十六日(木) 朝九時 (魚法会)

魚供養、魚法会は、特に志を供えられた漁業者だけの法要ではありません。仙崎の鯨法会のように、どなたでも、また多くの方がともに仏法を聞くことが大切なのです。たくさんのお参りをお待ちしています。



## 三隅 親鸞聖人鑽仰会法会 御案内

毎年恒例の三隅親鸞聖人

鑽仰会法会。第四十九回である今年度

は、豊原 宗善寺にて勤修されます。どうぞ、お誘い合わせの上御参詣下さい。

記

- 一、日時 九月五日(水) 午後一時半
- 六日(木) 午後一時半

- 一、会 所 豊原 宗善寺
- 一、講 師 広島

松林 行圓 先生

ご希望の方は、送り迎えをいたしますので、極楽寺までお申し出下さい。

どうぞ、  
ご遠慮なく!



# 報告のページ

7月1日の総代・世話人会議にて、下記の通り収支決算が承認されました。

## 2011(平成23)年度極楽寺門徒会収支決算書

平成23年4月1日～平成24年3月31日

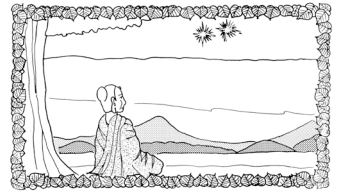
	費目	金額(円)	摘要
収 入	門徒会会費	855,000	延285戸×3,000円(野波瀬延128/在方延112/町外延45)
	本山教化助成金	9,700	本山門徒講、永代経志進納によるもの
	貯金利息	255	
	前年度繰越金	3,111,465	
	合計	3,976,420	
支 出	負担金	406,740	本山賦課金 93,600
			本山門徒講金 152,000
			山口教区費 125,540
			大津東組 組費 35,600
	研修会費	24,000	組総代会総会(7/27) 3,000
			教区総代一泊研修(1/25-26) 21,000
	火災保険料	139,700	本堂 保険料6,700万円 106,460
			庫裏 保険料4,000万円 33,240
	会議費	60,000	7/3 総代・世話人会議
	慶弔費	10,000	上田耕作世話人逝去
予備費	0		
合計	640,440		
差引残金		3,335,980	漁協普通預金

### 2011(平成23)年度極楽寺 特別会計収支決算書

	費目	金額(円)	摘要
収 入	定期預金	2,292,380	前年度繰越金
	普通預金	71,680	前年度繰越金
	利息	558	定期552円 普通預金6円
合計		2,364,618	漁協定期預金2,292,380円 普通預金72,238円 (支出なし)

2012(平成24)年度の門徒会費は、前年通り3,000円です。

三隅地区の方は世話人さんへ。他地区の方は、直接お寺の方へ納入して下さい。宜しくお願いします。



## 極楽寺揭示伝道 けいじてんどう



## 7月の言葉

昔々あるところに、欄干もなく、雨が降れば消えてしまうような、一間幅いっけんぱんくらいの橋がありました。その橋の上で、通りすがりの旅人が、足を滑すべらせてしまったのです。咄嗟とつぱに橋のたもとにしがみついたのですが、今にも川に落ちそうです。「誰か助けてくれ、助けてくれ」と叫んでみると、そこにお百姓さんが通りかかりました。「ああ、よかった。どうか助けて下さい！」そう叫ぶ旅人に、お百姓さんはニヤニヤしながら「手を離せ」とだけ言って、去っていきました。「な、なんと薄情はくじやうな。助けてくれ、助けてくれ」と叫び続けると、お百姓さんは振り返り、また「手を離せ」と言うのです。そういうわけにはいかない旅人は、一生懸命しがみついていたのですが・・・、とうとう力尽きて落ちてしまいました。

「助けてくれ」真つ逆さまに落ちたと思ったら・・・  
何とそこは、水どころかすぐに足がつく川原かわらでした。二メートル

ルも三メートルもあつたら怪我けがをしますが、わずか三〇センチ。大地はすぐそこだったというお話です。

私たちは、いろんなものを頼みにし、にぎりしめて生きてい  
るのではないのでしょうか。それが、本当に頼みになるものなの  
かも考えず、そこから下を見おろしながら、優越感ゆうえつかんに浸ひたって  
いるのかもしれませんが。しかし、実はその優越感とは、墮おちては  
ダメだとしがみつくと劣等感れつとうかんの裏返しではないですか。そんな自  
分の思いが、墮ちる地獄を作り上げているのではないでしょ  
うか。

浄土真宗では、落ちることを大切にします。落ちて、大地に  
足がつくということが大切なのだと。金子大栄かねこだいえいという先生は、  
「落ち着くというのは、落ちて着くのですよ」といわれていま  
す。落ちたところには、大地がある。あなたを支える人たちが  
いて、あなたを願う世界がある。そういう世界に気づかせてい  
ただくのが、このお念仏の世界です。「あなたがにぎりしめて  
いるものは、何なのですか」「にぎりしめているその手を、離  
しなさい」という呼びかけが、南無阿弥陀仏のお念仏なのです。  
力抜いて、自分がにぎりしめていたものを手放した時、私を  
支えて下さっている大きな世界との出遇であいが開かれる。その世  
界を、「本願他力ほんがんたりにき」の世界と言うのです。■

人間の考え出したものに  
副作用のなかったものは  
ありません  
極楽寺揭示伝道



## 8月の言葉

最近、悲惨な自動車事故が増えています。よそ見をしながらの運転や、居眠り運転。飲酒運転もありますし、中には脱法ハーブなる幻覚症状を起こすものを服用しての事故もありました。しかも、それが登校中の子どもたちの列に突っ込んだり、歩道に突っ込んだりと、本当に怖ろしい事故につながっています。

しかし考えてみると、これらの事故は、オートマティック車が普及してからますます増えているような気がします。厳密に調べたわけではありませんから断言はできませんが、面倒くさくて技術の必要なミッション車ではなく、誰でも気軽に、簡単に運転できるオートマティック車が普及したということは、同時に居眠りしながらでも、脱法ハーブを吸いながらも、気軽に、簡単に、スピードが出せるようになったとも言えるのではないのでしょうか。アクセルとブレーキを踏み間違えて起きた大きな事故の二

ユースも伝えられています。これも、便利さの副作用と言えるでしょう。

確かに、これらの問題に対して、「酒気を感じるとエンジンがかからない」システムや、「前に行く歩行者や障害物を感じて、自動でブレーキがかかる」といった運転支援システムが開発されています。そうして副作用を克服していくことが、人類の進歩だと言われる方もあるでしょう。しかし、肝心の人間そのものの成長や成熟というものが見失われているならば、科学が進歩するほどその副作用は、ますます大きなものになるはずで。技術を扱う側の問題を、置き去りにはできません。

これは、他人事ではないのです。私も、その便利さ、快適さの恩恵を受けているのですから、一歩間違えれば大きな事故と背中合わせにいます。そうは言いながら、わかっている「ツモリ」で、平然と暮らしているのかもしれない。やはり自分を見つめる場が、必要なようです。

親鸞聖人は、常に阿弥陀様の ※



※ 智慧と慈悲の光に照らされながら、自分を見つめ、愚かさや限界げんかいと向き合いながら、人生を歩まれました。わかっている「ツモリ」で生きてしまう身であるからこそ、常に、常に、阿弥陀様と共に、お念仏と共に歩まれたのでしょうか。その歩みこそが、七五〇年以上の歴史を通して慕われる、深く豊かな人間性を生み出したのではなからうか。そう思うのです。

「想定外でした」では済まされないほどの大きな副作用を抱えたかか力にも関わらず、そして、ふるさとを、思い出を、住む場所を、人生を奪う大きな副作用を生み出したにも関わらず、いまだに「原子力は、コントロールできる」という思いが、この国の政界せいがい・経済界けいざいのリーダーにはあるようです。

確かに、目の前の生活から目を背けるわけにはいきませんが、これだけの副作用に目をつぶるわけにもいきません。「真摯しんしに取り組んでいます」という言葉が虚しく響くほど、政治家や企業への信頼も失われています。

今こそ、人間の愚かさや限界げんかいを照らし出す世界と出会うことが、本当に求められていると思うのです。 ■



## 極楽寺ホームページ

随時更新しています

極楽寺.com で検索して下さい



## 極楽寺だよりを送りませんか

極楽寺では、都会に出られているご門徒、ご家族、有縁の方々に、極楽寺だよりをお送りしています。現在、送り先は100件以上となり、お寺としても大変うれしく思っております。できれば、もっと増えるとうれしいのですが。

都会の子どもさんやお孫さんに、送られてはどうでしょう。連絡先を教えてください。お寺から直接お送りします。ご遠慮なくお申し出下さい。



毎日、お参りしましょう！

キャンペーン 第三弾

## 亡くなった人がいないのに お仏壇が必要ですか？

先日インターネットを見ておりましたら、「新しく家を建てるにあたり、両親から『仏壇を作りなさい。お仏壇は私たちが用意するから』と、提案されました。まだ、誰も亡くなった人がいないのに、お仏壇は必要なのでしょうか。」という質問がありました。問いに対し、それぞれの方がそれぞれの立場で返答しておられるのですが、中の一人に「亡くなった人もいないのに、一体何をするつもりなんですかね。」という一言があり、ガツカリしてしまいました。おまけに、「ご両親は、同居を視野に入れておられるのかもしれませんが。」といった、打算的なことまで書き添えられており、二重の脱力感を味わうはめになりました。

近頃、合掌のやり方がわからない子どもが出てきたと指摘される三上章道さんは、著書の中で、

「合掌は『自己を見つめる・他者を思う・感謝』の表現であり、逆に合掌ができない生活や社会は、『自己中心、他を思えない、感謝の気持ちに欠ける』／ということ」

(『合掌ができない子どもたち』(白馬社))

だと言われています。

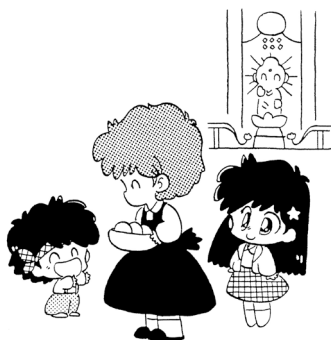
願い事をかなえるためには、手も合わせるし、頭も下げる。たたりが怖いから、それを鎮めるためにお仏壇を用意する。それはすべて『自己中心、他を思えない、感謝の気持ちに欠ける』態度からきていると言っては言い過ぎでしょうか。仏様に手を合わせる中で育まれる、心の豊かさが、見失われているとも言えるのかもしれませんが。

浄土真宗の盛んな地域では、若い人が家を新築するときは、亡くなった人がいようがいまいが、お仏壇を置く風習が根付いていました。それは、阿弥陀様と共に人生を生き ☆

☆ 抜いて欲しいという願いが、形となって伝わって  
いたからです。質問者のご両親も、自分をふり返るこ  
との大切さ、支えて下さる世界への感謝の大切さを知  
るからこそ、阿弥陀様の光に照らされながら、育てら  
れながら人生を歩んで欲しいと、わざわざお仏壇を用  
意して下さろうとしておられるのです。

お仏壇の前に座り、手を合わせることは、単なる先祖  
供養とは全く違います。今の私がどのように育てられ、  
どのように支えられてきたかという、いのちの歴史を  
味わい、感謝する気持ちが育まれる大切なご縁です。  
私が何を敬い、何を粗末にしているのかに気づかせて  
下さる場でもあります。その場を用意しようという願  
いを深く受け止めることが、

自分の人生をより豊かにしてい  
くことに、つながるのではない  
でしょうか。 ■

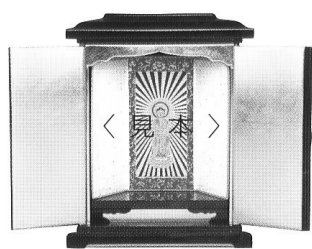


## 「すべての家庭にお仏壇を」

本願寺では、「すべての家庭にお仏壇を」という思いを込めて、いちよう・きくという  
名称の小さなお仏壇を用意しております。新婚家庭や独り暮らしの方にも、手軽にお仏  
壇を置くことができます。(どこかの通販番組のような表現に、なっていましたね。  
文章力のなさに、自己嫌悪・・・涙)

実は就職も、大学入学後独り暮らしをはじめるときに、親から小さなお仏壇をわたさ  
れました。学生時代には、あまり手を合わせることもありませんでしたが、贈る側の心  
を今思うと、本当に有り難いことだと感じます。家の中に、自分を見つめる場所、心を  
落ちつける場所、独り言が言える場所、素直になれる場所があるということは、人間が  
生きる上において、本当に大切なことだと思います。

お問い合わせは、お寺までどうぞ。



いちよう

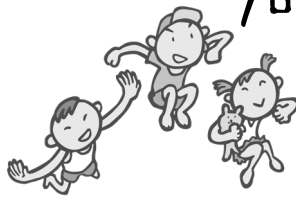
いちよう	縦 24cm	横 19cm	奥 9cm	冥加金	三万円
きく	縦 17.2cm	横 10.3cm	奥 2.9cm	冥加金	二万円



お寺の子ども会  
花火とかき氷の夕べ

8月のお寺の子ども会は、  
夜の子ども会です!  
**8月17日(金)**

夜7時30分から  
9時前には終わります



どうぞ、ご家族でお越し下さい。

毎年恒例の大津東組主催、キッズサンが。今年は、  
深川 江良 光浄寺で開催いたします。たくさんの方のご参加をお待ちしています!!

1. 日時 8月21日(火)午後2時半より  
22日(水)午前11時まで
2. 場所 長門 江良 光浄寺 TEL 22-2933
3. 対象 小学校4年生から小学6年生まで
4. 会費 1,000円(当日集めます)
5. 申し込み&お問い合わせ お寺まで。
6. 送迎 お寺で、送迎いたします。  
詳細は参加者に連絡します。
7. 持ってくるもの

- ①会費 ②おじゆず ③夏休み帳(その他夏休みの宿題)
- ④ラジオ体操カード ⑤バスタオル(タオルケット)2枚
- ⑥ねまき ⑦洗面用具 ⑧筆記用具

※お経本は、お寺にあります。



大津東組キッズサンが  
お寺にとまろう!